

Mizuho Daily Market Report

2023/9/20

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.65	147.86	+0.25	+0.78
EUR	1.0694	1.0679	▲0.0013	▲0.0075
AUD	0.6452	0.6454	+0.0017	+0.0028
SGD	1.3637	1.3648	+0.0015	+0.0042
CNY	7.2957	7.2973	+0.0061	+0.0050
MYR	4.6964	4.6965	+0.0065	+0.0177
THB	35.93	35.95	+0.22	+0.31
IDR	15384	15380	+10	+40
PHP	56.77	56.77	▲0.10	+0.11
INR	83.26	83.27	+0.00	+0.35

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.359%	+5.6 bp	+7.9 bp
日本(10年)	0.718%	+0.3 bp	+0.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.738%	+3.0 bp	+9.5 bp
オーストラリア(5年)	3.923%	▲2.7 bp	+3.1 bp
シンガポール(5年)	3.237%	+0.3 bp	+7.5 bp
中国(5年)	2.516%	+0.7 bp	+4.1 bp
マレーシア(5年)	3.660%	+1.1 bp	+4.2 bp
タイ(5年)	2.761%	▲0.3 bp	+4.3 bp
インドネシア(5年)	6.412%	+3.6 bp	+9.8 bp
フィリピン(5年)	6.089%	+0.4 bp	▲1.5 bp
インド(5年)	7.163%	+0.0 bp	▲7.5 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,517.73	▲0.3%	▲0.4%
N225(日本)	33,242.59	▲0.9%	+1.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,242.70	▲0.1%	+0.0%
ASX(オーストラリア)	4,155.46	+0.1%	+1.4%
FTSTI(シンガポール)	3,240.75	▲0.7%	+0.8%
SSEC(中国)	3,124.96	▲0.0%	▲0.4%
KLSE(マレーシア)	1,457.66	▲0.0%	+0.3%
SETI(タイ)	1,522.96	▲0.3%	▲1.5%
JKSE(インドネシア)	6,980.321	+0.6%	+0.7%
PSE(フィリピン)	6,047.97	▲1.3%	▲2.9%
SENSEX(インド)	67,596.84	+0.0%	+0.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	290.00	+0.2%	+0.9%
金	1,931.36	▲0.1%	+0.9%
原油(WTI)	91.20	▲0.3%	+2.7%
銅	8,233.50	▲0.8%	▲1.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.50	—	149.50
EUR/USD	1.0600	—	1.0750
AUD/USD	0.6340	—	0.6550
USD/SGD	1.3600	—	1.3720
USD/CNY	7.2800	—	7.3200
USD/MYR	4.6850	—	4.7040
USD/THB	35.80	—	36.20
USD/IDR	15360	—	15400
USD/PHP	56.56	—	57.25
USD/INR	83.20	—	83.45

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台半ばの水準でオープン。前日に米金利が低下したことを受けて、オープン直後に小幅に下落。その後は週後半の重要イベントを控え持ち高を積極的に傾ける動きは限られたが、米長期金利が持ち直す流れを受けてじりじりと円安方向に推移。結局、147円台後半の水準で海外時間へ。アジア通貨は大半が下落。主要国の中銀イベントを控え様子見ムードが広がった。

海外時間のドル円は米金利上昇に伴いじりじりと上昇も、年初来高値の147円台後半の水準まで上昇後に失速。小幅反落し147円台半ばの水準でNYオープン。NY時間朝方に発表された米8月建設許可件数は予想を上回るも、米8月住宅着工件数は予想を下回り、強弱まちまちな結果となる。しかし、同時に発表された加8月CPI(前年比)が予想以上の伸びを記録した事を受け、インフレ再加速の懸念が波及し米金利も連れて上昇する動きに、ドル円も147円台後半まで上昇。しかし買いは長く続かず、147円台半ばまで値を下げる。その後、米金利が再度上昇する動きを背景に147円台後半まで反発。NY時間午後は米長期金利が2007以来の高水準で推移する展開を受け、ドル円も高値圏で続伸。その後は注目の9月FOMCの結果発表を明日に控え、147円台江南の水準を維持しクロス。

【金利】

米債利回りはベリゾーン中心に金利上昇。FOMCを直前に控え目立った材料も乏しい中、米国時間の原油先物価格の上昇とともに金利が上昇するも、その後上昇幅を一部巻き戻す展開。20年債入札は波乱なく通過したが、その後は長期以降中心に再び金利上昇に転じる。

【予想】

本日はFOMC結果発表、およびハウエル議長会見を控えてアジア時間のドル円は動意に乏しい展開となるか。注目のFOMC会合では政策金利据え置きとの予想が多いが、穀物・原油価格の高騰に伴いインフレ圧力が再燃しているとの見方もある中、議長会見にて今後の追加利上げや据え置き期間長期化などについて示唆がある場合、海外時間中にドル高に触れる可能性があるだろう。

【本日の予定】

(日本) 8月 貿易収支
(日本) 8月 首都圏新築分譲マンション
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、10-25y
(アジア) 2Q NZ 経常収支 / 経常収支 GDP 比率
(アジア) 8月 豪 westハック 景気先行指数
(アジア) 8月 韓国 PPI
(アジア) 中国 LPR (1Y、5Y)
(欧州) 7月 ユーロ圏 建設業生産高
(欧州) 7月 英 住宅価格指数
(欧州) 7月 西 住宅取引
(欧州) 8月 ユーロ圏 EU27か国新車登録台数
(欧州) 8月 独 PPI
(欧州) 8月 英 CPI / PPI
(欧州) 8月 英 小売物価指数
(欧州) チャールズ 国王とカミラ王妃が訪仏
(米国) FOMC
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ハウエルFRB議長会見

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。